

鷹の台公園のあり方調査・検討に係るヒアリング実施結果

令和4年3月

| | |
|----------|---|
| 実施回数 | 44回（おおむね70名） |
| 団体等の主な内訳 | 地域住民（小学生、市民団体、子育てグループなど）、自治会、管理組合、商店、学校関係者、障がい者支援団体、保育施設、まちづくり関係団体、公園アダプト団体 など |
| ヒアリング方法 | 訪問または市内公共施設にて対面ヒアリング（1回につき最大4名） |
| ヒアリング項目 | ①市立公園及び鷹の台公園の役割 ②市立公園及び鷹の台公園をめぐる課題 ③自分自身が考える課題の解決策 ④自分自身が思う理想の公園や鷹の台公園などの理想の公園運営 |

| ヒアリング項目 | 主な意見 | |
|-------------------------------|--|--|
| | 鷹の台公園 | 市立公園 |
| ①市立公園及び鷹の台公園の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・ まちのシンボルとなる公園 ・ 近隣の学生の発表の場 ・ 地域コミュニティの核となる場 ・ 地域の活性化につながる公園 ・ 中央公園との役割分担・連携を考える必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの自由な遊びの場 ・ 市民の運動の場 ・ 憩いの場 ・ 地域の防災拠点 ・ 世代間の交流ができる場 ・ 子育て支援の中心的な場 ・ 高齢者等の居場所としての役割 ・ イベントやレクリエーションを行う場 ・ 地域のコミュニケーションが生まれる場 |
| ②市立公園及び鷹の台公園をめぐる課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鷹の台公園に隣接する商店街との連携が必要。 ・ 住宅街のなかに整備する公園であるため、近隣への配慮が必要。 ・ 自転車の駐輪については検討しておくべき。 ・ 公園内の駐車場の設置の有無は慎重に検討が必要。 ・ 公園内に飲食ができる場所があるとよい。 ・ 周辺の道が狭く、交通量が多い。歩行者・自転車の通行や朝夕の渋滞を考慮すべき。 ・ 防犯面など安全管理上の配慮は必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小規模公園が多く、十分な維持管理に限界があるのでは。 ・ 各公園のコンセプトがわからない。また、住民の世代が変わって公園の役割も変化している。 ・ 公園利用の禁止事項が多い。 ・ 幼い子どもが遊べる公園が少ない。 ・ 若い世代が、公園に行く目的が乏しい。 ・ 中央公園は、体育館と体育施設と公園で管理者が異なっており、不便に感じる。 ・ 公園を借りやすい仕組みがあるとよい。 ・ 需要が増えているスポーツ（ニュースポーツ、スケボーなど）を行う場の確保。 |
| ③自分自身が考える課題の解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者等のノウハウや資金の活用を考える。 ・ 公園マルシェを頻繁に行うことでにぎわいが生まれるとともに、創業支援にもなる。 ・ 企業と連携し、公園でいろいろな企画をやってもらおう。 ・ 集客が見込める目玉の商業施設（カフェなどの飲食店、日用品店等）があるとよい。 ・ 利用者が集える屋根のある空間を整備する。 ・ 安心して子どもを連れていける施設・備品を整備する。 ・ 公園の土地を利用して、少しでも歩行者空間を整備する。 ・ 防犯上の観点から、外から誰でも公園のなかが見えるようなオープンスペースとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の維持管理に、地域住民にも関わってもらおう。 ・ 中小規模公園は、有効な活用と安全な維持管理が継続できる仕組みづくりをする。 ・ 管理側に地域との連携を担うコーディネーターを配置する。 |
| ④自分自身が思う理想の公園や鷹の台公園などの理想の公園運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 木陰が適度にある芝生の公園 ・ 水遊びができる公園 ・ 子どもが自由に遊べる公園 ・ 障がいのある子どもが遊べる公園 ・ イベントやマルシェなどができる公園 ・ 防災の拠点となる防災機能のある公園 ・ カフェなどの飲食店がある公園 ・ 学生も含めて地域の交流の場となる公園 ・ 地域資源（玉川上水、津田梅子等）がPRできる公園 ・ 美大がある市という特徴を活かす公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の運営に市民が関われる。 ・ 他自治体のように民間事業者等と連携して公園を運営管理する。 ・ 管理者と利用者が密に連絡調整ができる公園。 ・ 大規模公園を拠点としながら、地域の中小規模公園も含めて全体を有効活用する。 |